

第6回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会 議事概要

●第6回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会

- ・日 時：令和7年1月28日(火) 15:00～17:00
- ・場 所：四万十市防災センター会議室
- ・出席者：四万十市長、四万十市教育委員会教育長、四万十市区長会会長、中村商工会議所会頭、(一社)中村青年会議所理事長、四万十つるの里づくりの会会長、四万十川自然再生協議会会長、高知野鳥の会会長、国土交通省中村河川国道事務所所長
- ・講 師：愛媛県西予市長
- ・事務局：中村河川国道事務所、(公財)日本生態系協会

●開催状況



●議事

- ・「四万十川流域におけるツル類の飛来・生息状況」、「今年度の取組報告及び来年度の取組の方向性」について議論した。
また、「西予市ツル・コウノトリと共生するまちづくり計画（ビジョン）」を策定し、ツルやコウノトリの見守り活動にも取り組まれている、愛媛県西予市の管家一夫市長との意見交換会を行った。

●主な意見

□来年度の取組の方向性について

- ・今期はツル類の飛来数が少なく、越冬も確認されなかった。この結果を踏まえて、来年度以降、さらなるツル類の飛来に向けての取組を、各主体間の連携により進めていきたい。
- ・四万十市内の小中学校の子どもたちに、四万十市に飛来するツル類について教え、関心を持ってもらうことが重要である。

□愛媛県西予市との意見交換会について

- ・西予市は、ツルが暮らせる安定した環境を長いスパンで作ろうと考えているので、ツル類の飛来地として定着するまでは、ツル類の情報を広く周知することは控えている。
- ・西予市では、「西予市田園ロマンの里づくり基金」を設立し、地域住民と関係機関が連携してのツルやコウノトリの見守りや地域づくり活動への支援を実施している。
- ・四万十市と西予市の間をツルが行き来しているということが確認されている。四国西南のこの2地域でツル、コウノトリが飛来する場所の情報を交換しながら、今後とも交流を深めることをお願いしたい。